

The 172nd RIKEN BRC Seminar



2025年2月7日(金) 16:00~17:15

理化学研究所バイオリソース研究センター 森脇和郎ホール

Hybrid

東京科学大学名誉教授 (元 難治疾患研究所・エピジェネティクス分野教授)

石野 史敏 先生 * * 講演

東海大学客員教授 (元東海大学医学部教授)

金見一石野 知子 先生

ウイルスからの「遺伝子獲得」が 哺乳類の個体発生機構成立に 与えたインパクト

座長：小倉 淳郎

理化学研究所バイオリソース研究センター
遺伝工学基盤技術室 室長

哺乳類の誕生という大進化において、ゲノム機能にどのような変化が起きたのか？哺乳類のゲノムの9%を占める内在性レトロウイルス/LTRレトロトランスポゾン、以前はゲノム中のゴミと言われていた。しかし現在では、これに由来する少なくとも5つの遺伝子が、哺乳類の胎盤形成・機能維持に必須の機能を果たしたことがわかっている。それに加え、哺乳類のもう一つの特徴である、脳機能の高度化にも、これらの遺伝子が重要で多様な関わりを持つことがわかってきた。本セミナーでは、PEG10、PEG11/RTL1 遺伝子を含めた11個のSIRH/RTL 遺伝子の機能と哺乳類進化との関係、および遺伝子獲得の場としての胎盤・卵黄嚢など胚体外組織の重要性について紹介する。

当セミナーは、学生、研究者、技術者を対象としたものです。理化学研究所以外からご参加の方は、所属する大学または研究機関が発行する身分証をご持参になり、守衛所にて入構証をお受け取りください。

写真：東京医科歯科大学難治疾患研究所・エピジェネティクス分野 石野 史敏研究室 ウェブサイトより

Zoom 聴講可

オンラインで聴講をご希望の方は
右記あてに接続情報をお問合せください

お問合せ

バイオリソース研究センター
info-brc-seminar@ml.riken.jp